



2018年8月25日
投資家の皆様へのご説明

ヤマハ発動機株式会社
(東証一部 7272)

本日の内容

1. 会社概要
2. 事業活動
3. 業績の推移・株主還元
4. 社会貢献活動

本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動

ヤマハ発動機のおゆみ

1897年 **日本楽器製造** 誕生
(現在のヤマハ株式会社)

1955年 **二輪車部門**を分離・独立



ヤマハ 株式会社



ヤマハ発動機 株式会社



Revs Your Heart

Rev — エンジンの回転を上げるように。
心躍る瞬間、そして最高の経験を、YAMAHAと出会うすべての人へ届けたい。

私たちヤマハ発動機は、イノベーションへの情熱を胸に、
お客様の期待を超える感動の創造に挑戦しつづけます。

陸・海・空すべてのフィールドで 幅広い商品を展開

マリン事業



特機事業



その他事業



二輪車事業



グローバルな事業展開

グローバルに開発・生産、**180**を超える国と地域で販売

海外売上高比率 = およそ**90%**

海外生産比率 = **90%**以上



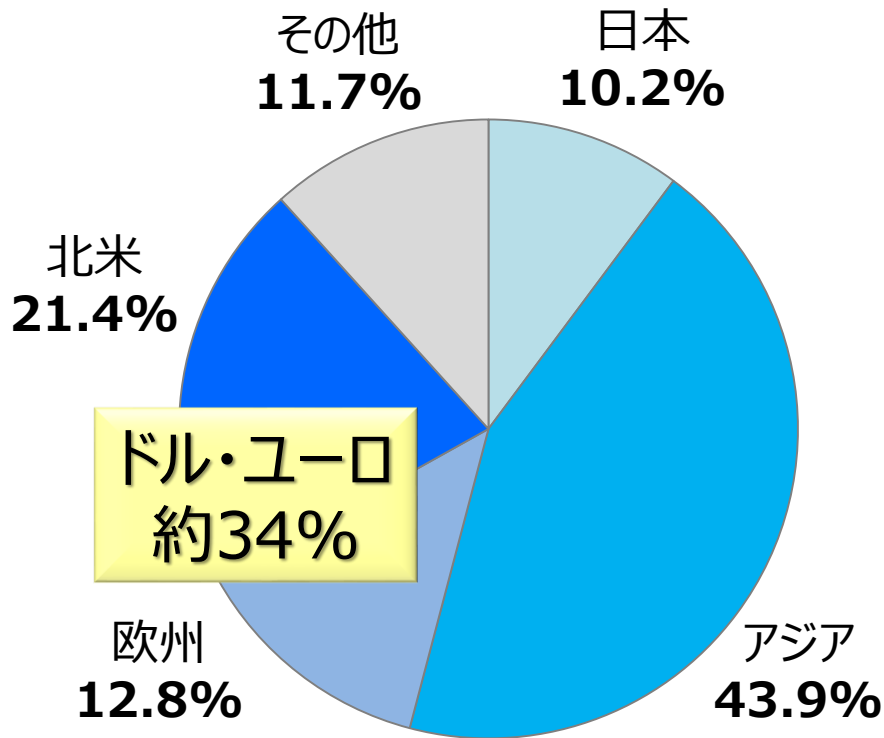
- 生産・開発・販売拠点
- 販売拠点ほか

外国人執行役員2名
グローバル新卒採用86名（新卒総合職の約10%）

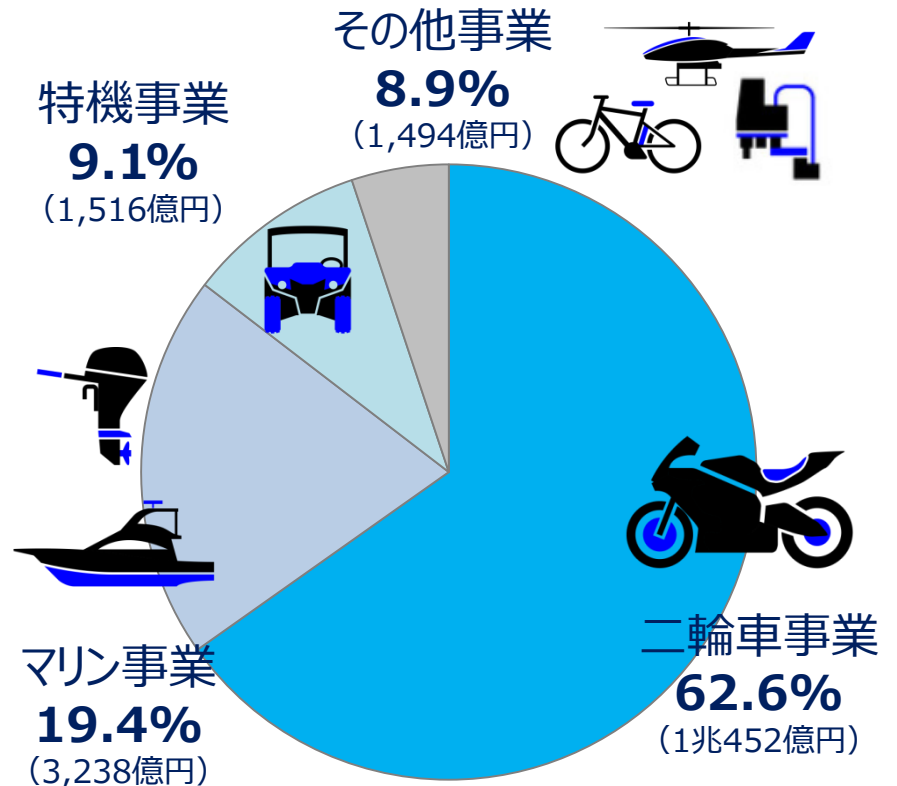
売上構成 (2017年12月期)

連結売上高 = 1兆6,701億円

地域別



事業別



本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

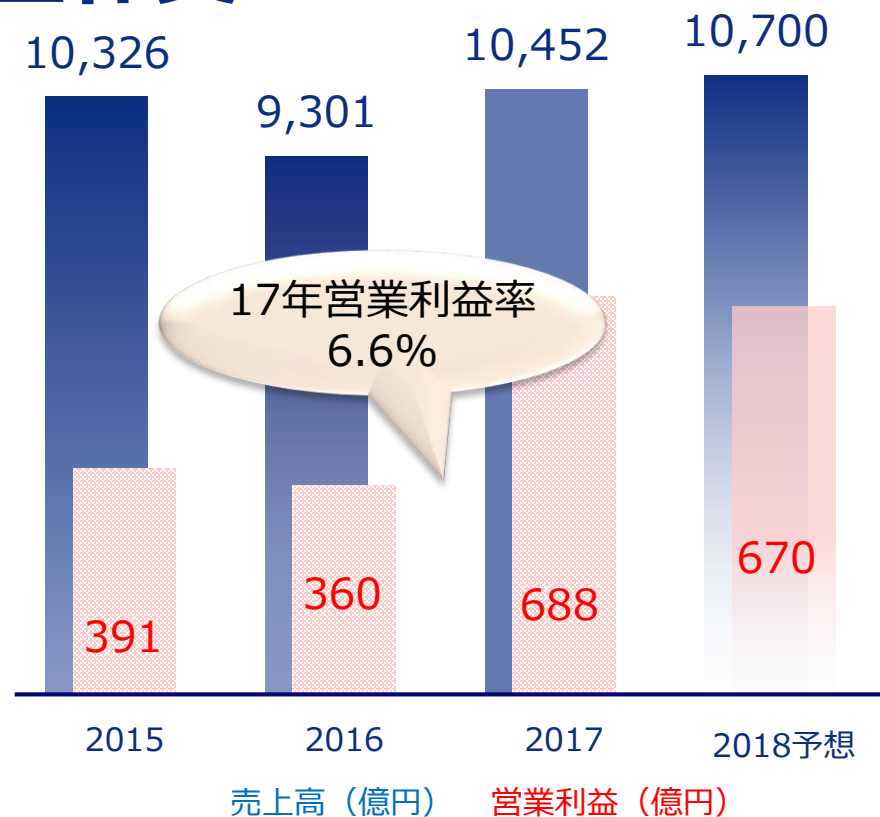
3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動

二輪車事業



会社創立から、基幹事業として展開 経営効率・商品競争力を高め、 安定した収益体質へ



二輪車事業 ～ 世界市場 ～

欧州
1,501

先進国
新製品の継続投入、
高いブランド力を発信

北米
535

中国
7,853

アセアン
12,342

日本
384

アセアン
プラットフォーム戦略推進、
シェア・高収益獲得へ

中南米
3,056

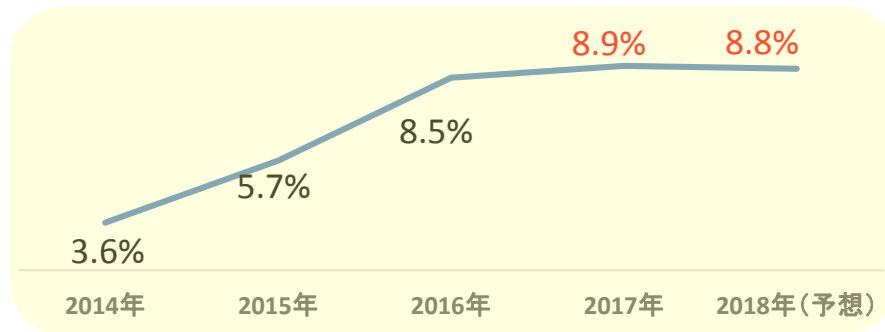
インド
19,124

インド
商品拡充、数量規模拡大により
利益貢献事業へ

二輪車の世界の総需要計：
53,995千台

総需要2017年実績（千台）

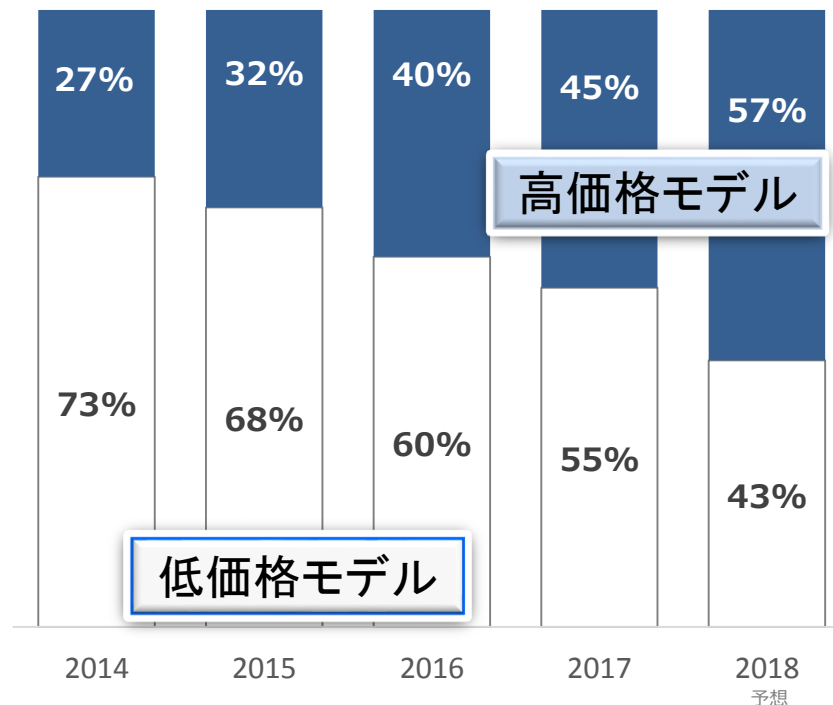
ASEAN 営業利益率大幅改善



①プラットフォーム開発によるコストダウン



②高価格モデルの販売比率増加

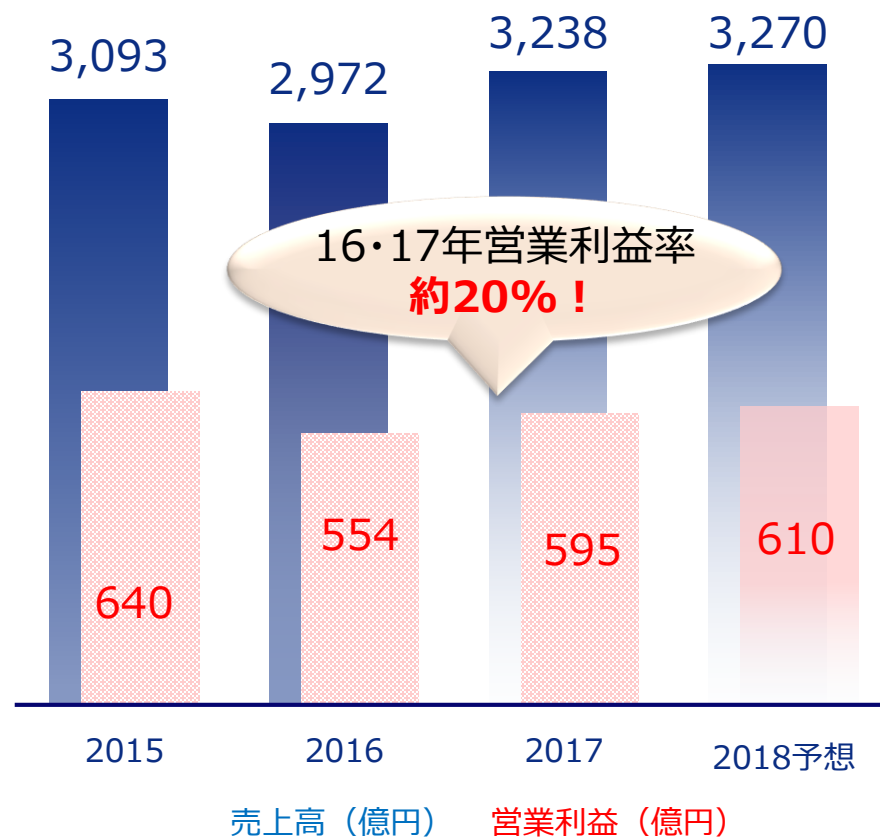
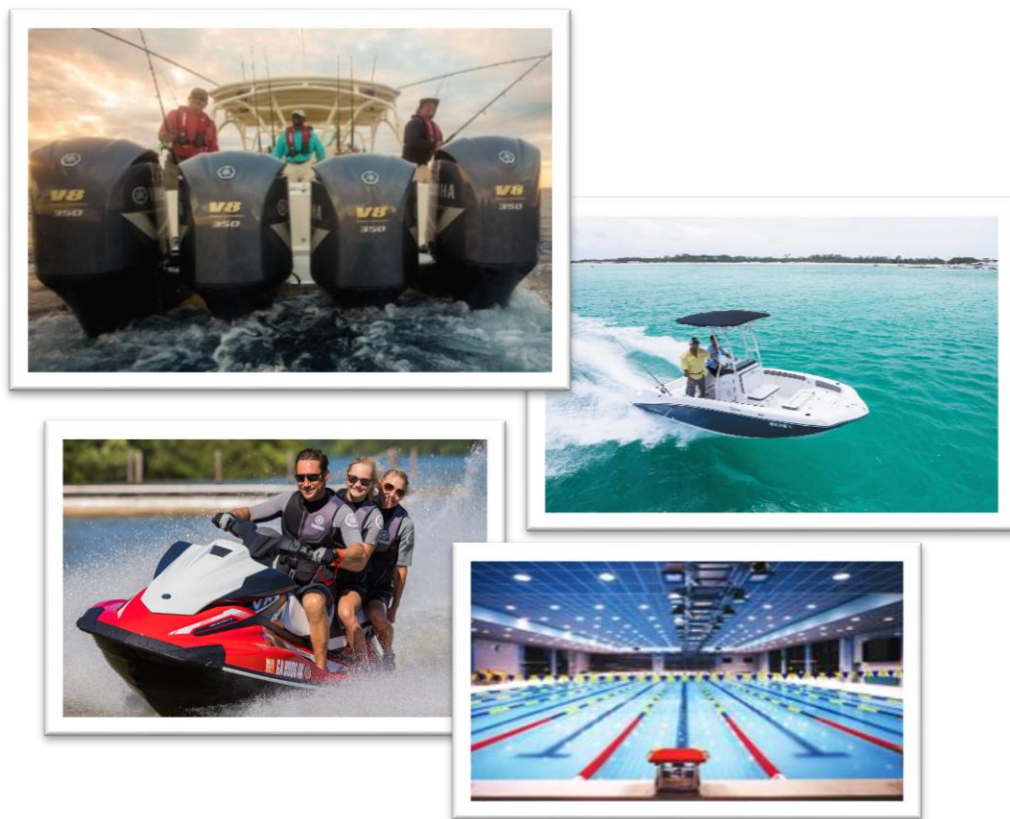


例) インドネシア 価格帯別販売台数推移

マリン事業



売上高3,000億円、営業利益率20%から さらに成長するビジネスモデルへ



高い信頼性を武器に大型に強み

信頼感

購入理由の1位は
「信頼感」

高い技術力

充実のサービス

市場トレンド+自社の強みを背景に
高収益を維持

営業利益率 約20%

特機事業

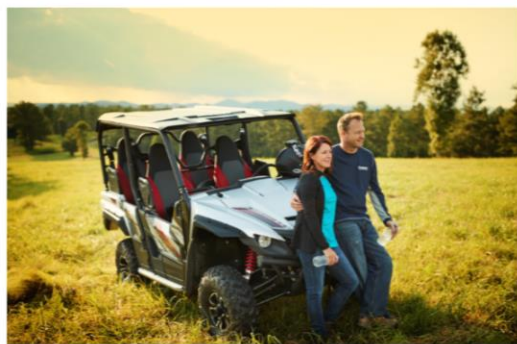


北米を中心に多様な商品を展開

(2017年実績 売上高1,516億円 営業利益△15億円)



ATV



ROV



ゴルフカー



スノーモビル



発電機



除雪機



その他事業

個性的なビジネスモデル群を展開

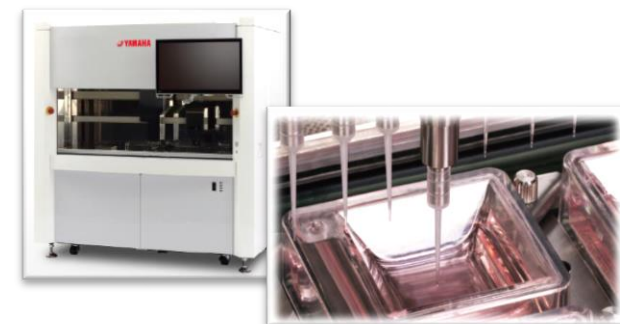
(2017年実績 売上高1,494億円 営業利益229億円)



電動アシスト自転車



表面実装機



CELL HANDLER
(表面実装機、メディカル領域への応用)



産業用無人ヘリコプター



電動車いす



自動車用エンジン

その他事業

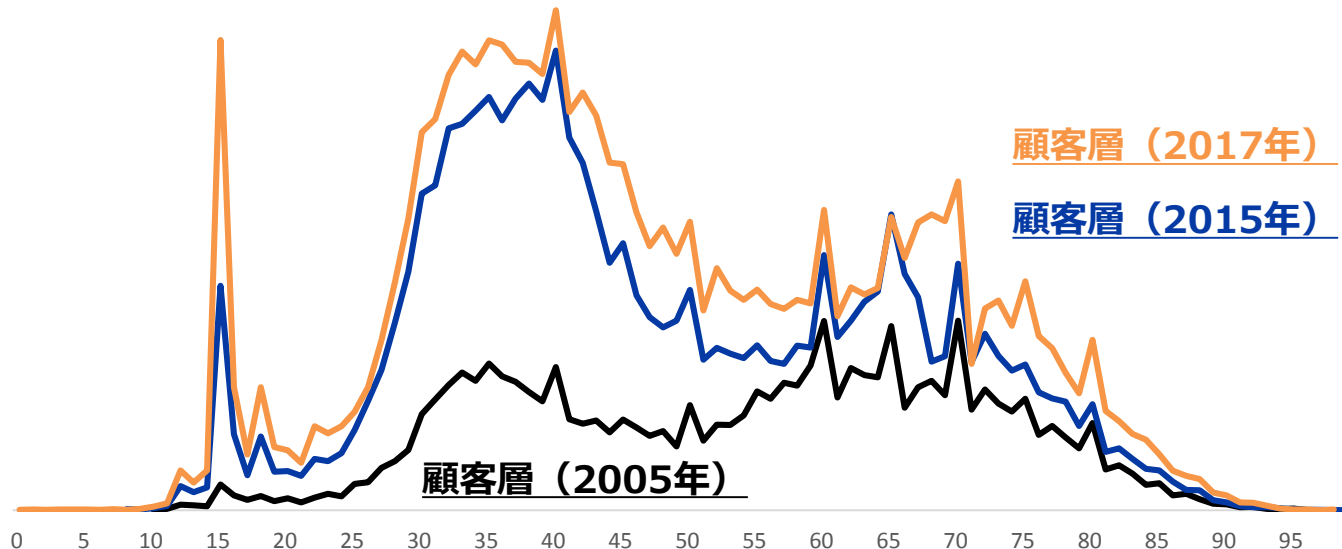
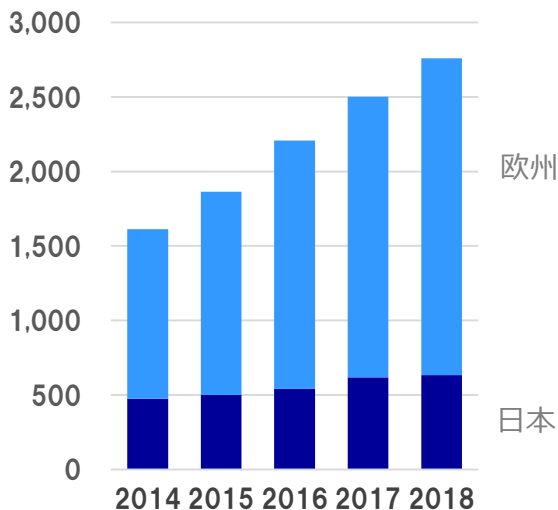
～ 電動アシスト自転車 ヤマハが市場を創出～

お客様の広がり
(国内登録数/年齢別)

1994年



電動アシスト自転車 総需要
(日本・欧州市場：千台)



通学モデル
PAS With



アシストロードバイクモデル
YPJ-R



ファミリーモデル
PAS Babby



足つき No.1モデル
PAS SION

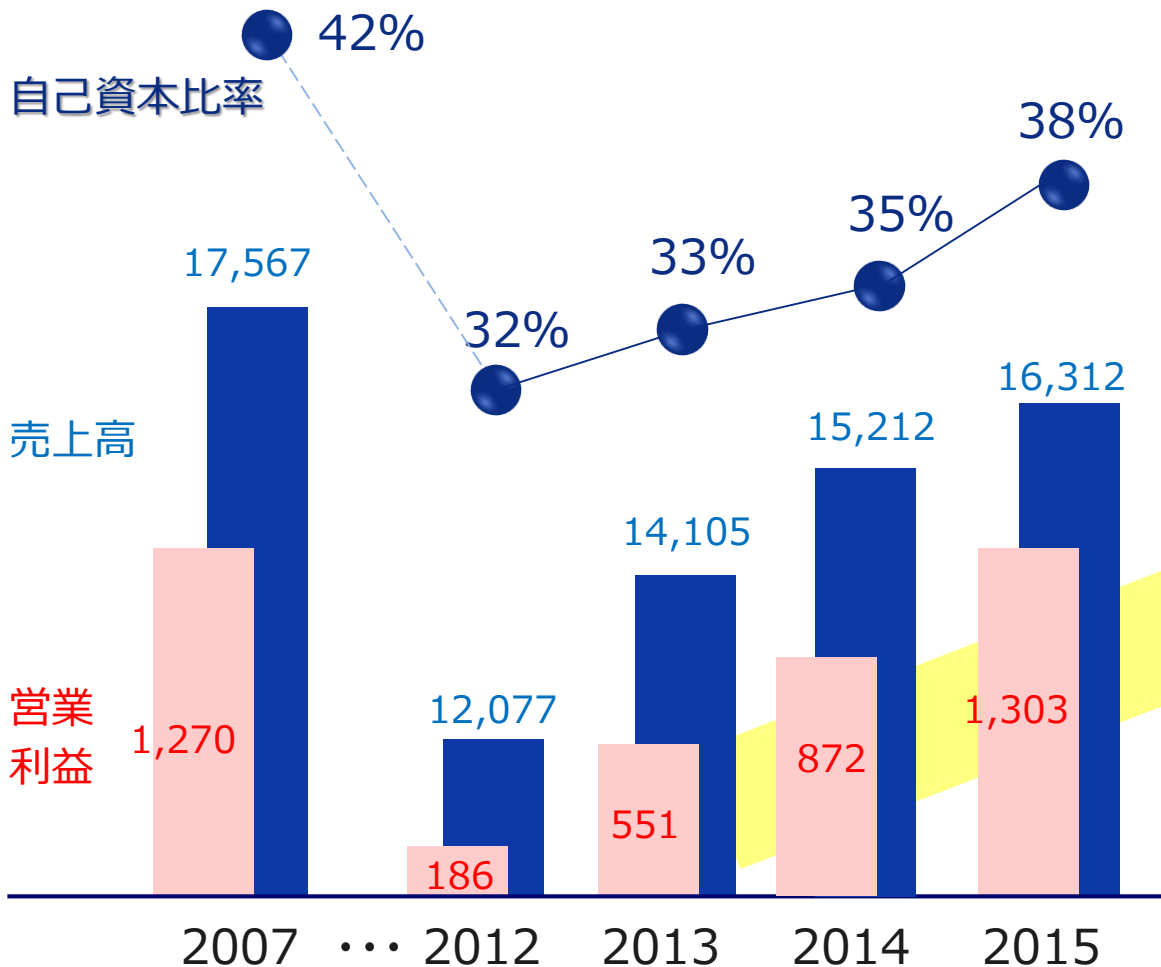
本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動



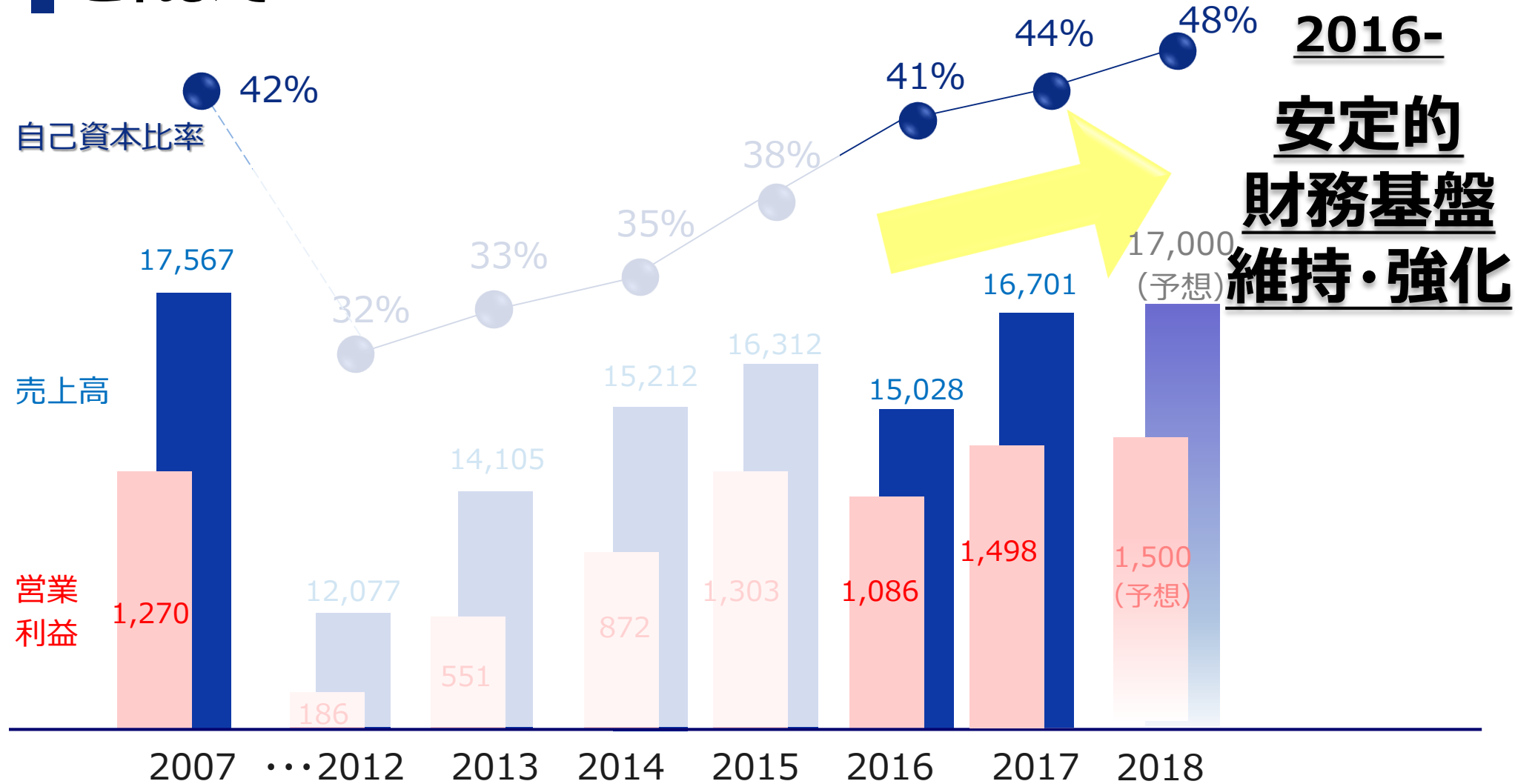
2013-2015
3期連続 増収・増益

**持続的成長の
基盤づくり**

EPS 248.81 21.45 126.20 196.06 171.89 (円)

自己資本 5,302 3,079 3,840 4,597 4,908 (億円)

※表示されている2014年以前の数字は、
販売金融に関わる収益・費用の組替を行う前のものです。



2016-
安定的
財務基盤
維持・強化

EPS 248.81 21.45 126.20 196.06 171.89 180.84 290.93

(円)

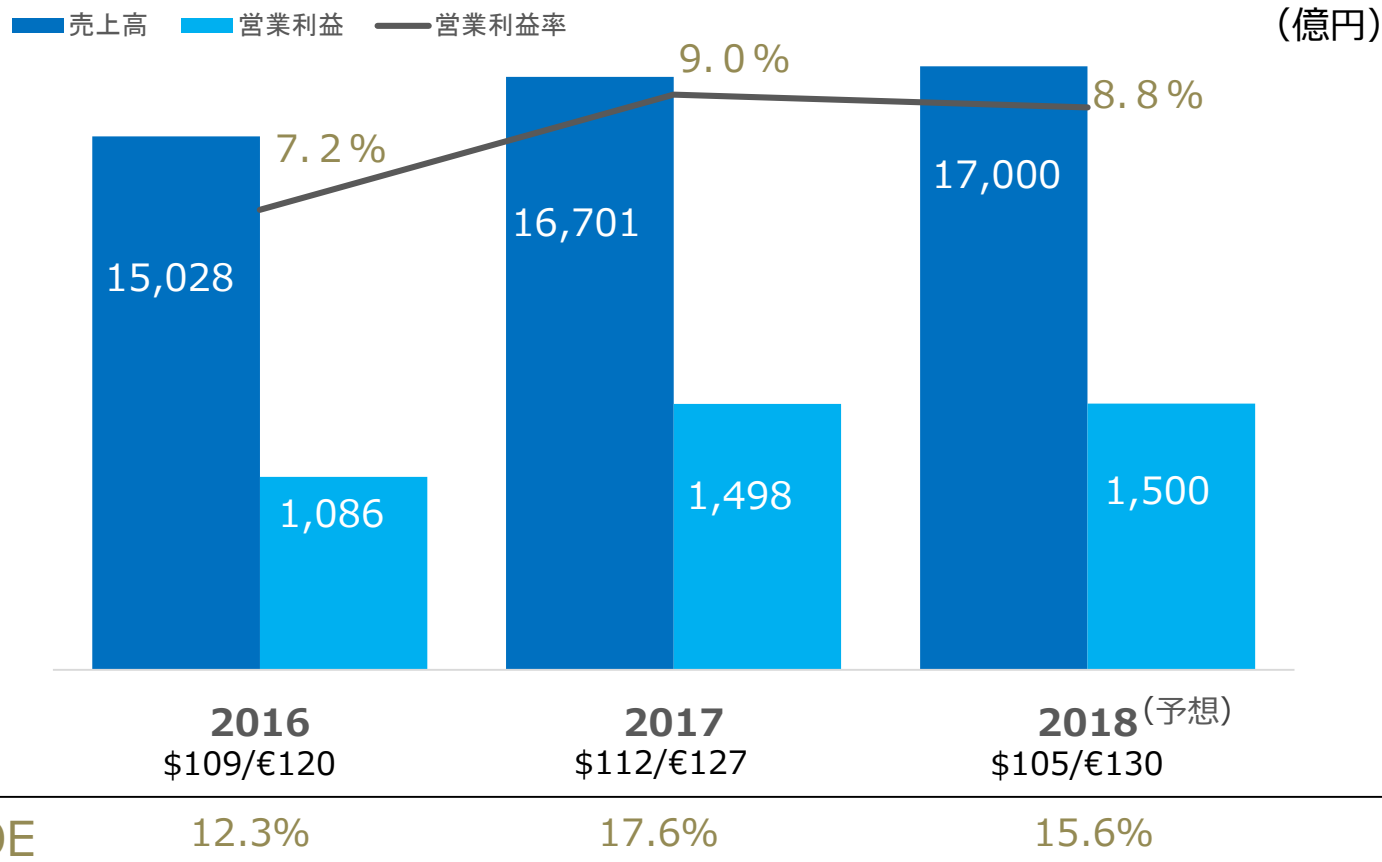
自己資本 5,302 3,079 3,840 4,597 4,908 5,342 6,228 7,000 (予想)

(億円)

中期経営計画 2016-2018

中期経営計画数値目標

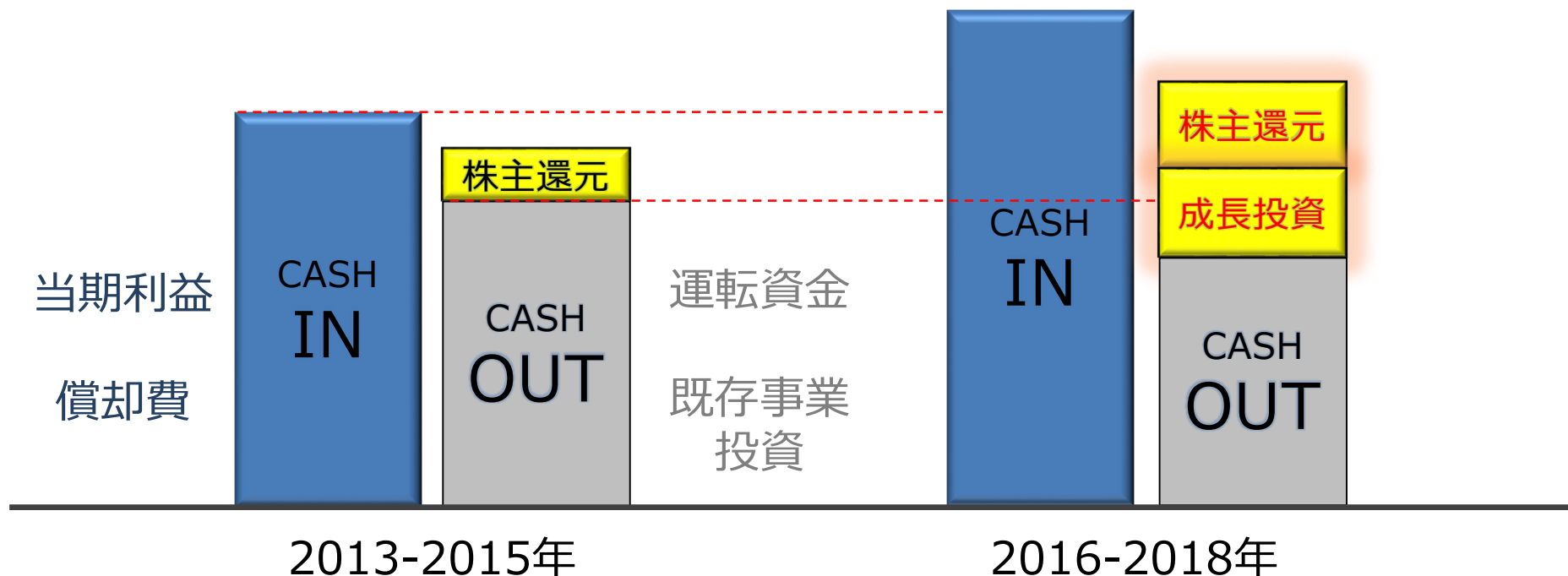
売上高 20,000億円 / 営業利益 1,800億円
 営業利益率 9.0% / ROE (3年平均) 15%程度



中期経営計画 2016-2018

新しい成長投資と株主還元強化

既存事業の稼ぐ力（限界利益・投資効率・事業効率）を高め、
安定的財務基盤により、新しい成長投資・株主還元をさらに増やす。



新しい成長戦略への経営資源投入

成長戦略費用 1,300億円

(設備投資 + 研究開発費)

- ① 広がるモビリティの世界
 - ・ L M W
 - ・ 電動化
- ② マリン 3 兆円市場への挑戦
 - ・ システム・サプライヤー
- ③ ソリューションビジネス
 - ・ ロボティクス技術の応用・拡大

成長戦略：広がるモビリティの世界

YPJ-ER
(スポーツライド)



YPJ-XC
(マウンテン)



NIKEN



TRITOWN



MWC-4



TRICITY



TY-E

新たな道を切り開く
電動アシスト自転車

LMWテクノロジー：
二輪から三輪、三輪から四輪へ

電動化

成長戦略：システムサプライヤー戦略

エンジンからシステムサプライヤーへ



統合制御システムのイメージ

成長戦略：ロボティクス技術の応用・拡大



MOTOBOT
ヒト型自律ライディングロボット



MOTOROID
人とマシンが共響するパーソナルモビリティ



産業用ドローン



自動運転も可能な電動小型低速車両

株主還元

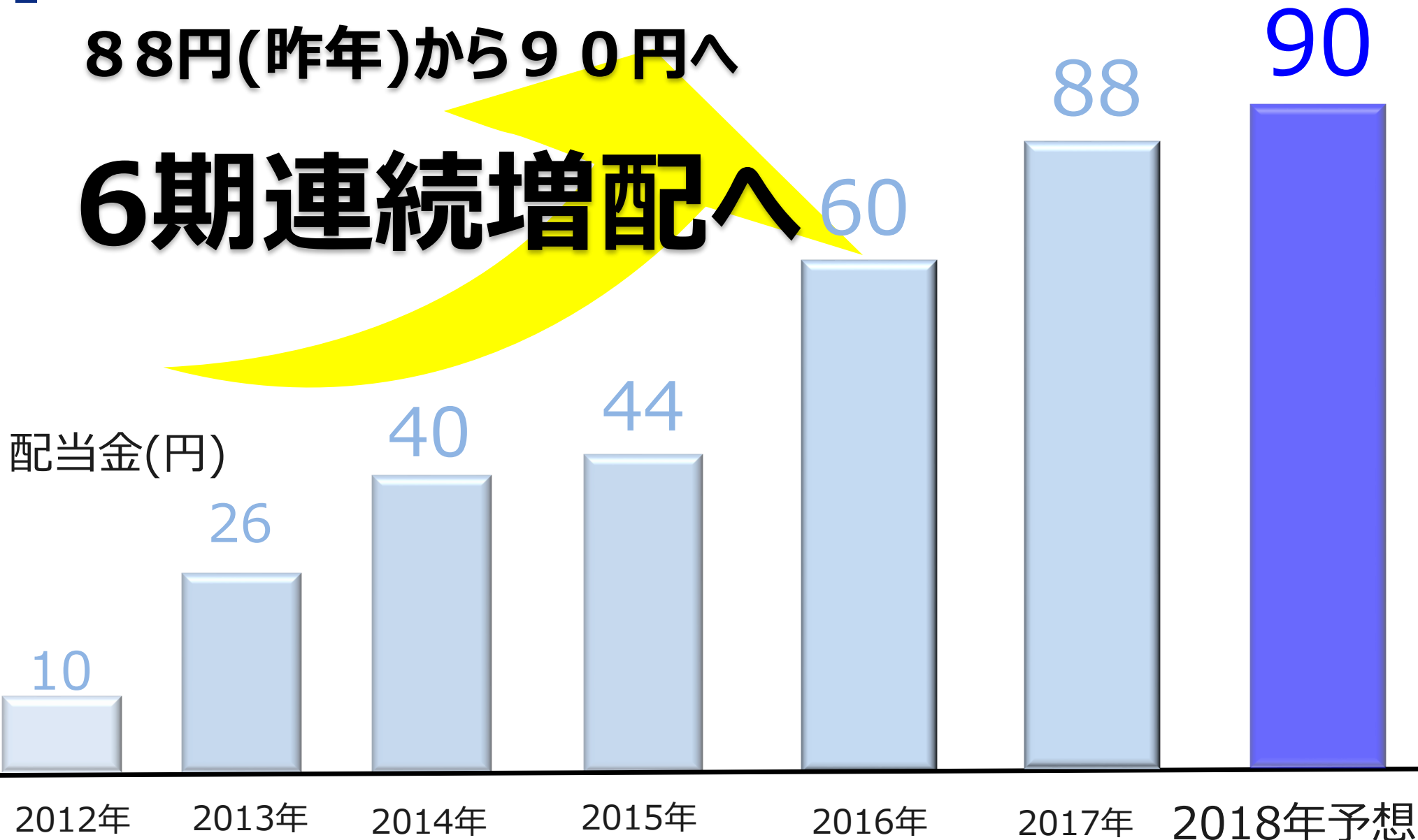
配当金



88円(昨年)から90円へ

6期連続増配へ

配当金(円)



静岡県（本社）および、
グループ会社所在地の名産品をご用意！



1,000P



2,000P



3,000P



4,000P



2,000P

当社ならではの体験型商品



株価の推移 2007 - 2018年

8月24日 (金)

株価 (終値) 2,785円 / 配当利回り 3.23% / PER 9.44倍



本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 業績の推移・株主還元

4. 社会貢献活動

地球環境との調和・地域社会との共存共栄



Environment 環境

【モビリティ】

- ・低燃費エンジン、EV開発
- ・温室効果ガス排出量削減



【マリン】

- ・海洋資源保全
- ・生物多様性



Social 社会

【モビリティ】

- ・交通安全普及活動
- ・自動運転実証実験



【マリン】

- ・途上国漁業支援
- ・FRP船技術者育成



【人材育成】

- ・将来を担う人たちの育成
- ・スポーツ振興財団



国際イニシアティブとの連携

国連グローバル・コンパクト



社外からのESG（環境・社会・ガバナンス）評価

モーニングスター社会的責任投資株価指数

SNAMサステナビリティ・インデックス

健康経営優良法人～ホワイト500～



社会貢献活動

人びとの豊かな暮らしのために



Moving You

企業目的「感動創造」を体現する活動をドキュメンタリームービーでご紹介しています
「ヤマハ発動機 Moving You」で検索の上、ぜひご覧ください。



A DOCUMENTARY SERIES

Moving You

笑顔ひろげる、感動つくる。





ヤマハ発動機株式会社
(東証一部 7272)